

# 都城商業高校における「新しい生活様式」

新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。対策として、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。そのためには一人ひとりの心がけが何より重要です。

都城商業高校では、流行の第2波が起こらないよう、次のことについて**全校生徒・全教職員が同じ意識を持ち、感染症対策に取り組んで**いきます。

## 1 健康的な生活習慣の確立

- 起床・就寝時間を決め、生活リズムを整える。
- バランスの良い食生活に努める。
- 適度な運動を行う。

## 2 換気

- 屋内では常時2方向の窓を開ける。また授業の中間点、授業終了後は教室の窓を全開にする。

## 3 マスクの着用

- 学校においては、マスクを着用する。特に会話、発声をする時には症状がなくてもマスクが必要であるので、マスクを持参し忘れた場合は保健室で配付する。
- 登下校中においては、マスクを着用する。
- 暑さによる熱中症が心配される時季であるので、マスク着用時に暑さから息苦しきを感じた場合は、いったん外す等して体調を整えること。

## 4 健康観察の徹底

- 家庭と連携し、毎朝自宅で体温測定、健康観察をする。発熱または風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養する。登校前に確認できなかった生徒は、登校後に必ず保健室で検温を行う。
- SHR、授業、全ての場面において、担当の職員は常時生徒の健康観察を行う。

## 5 手洗い・咳エチケットの徹底

- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う。  
特に、登校後、帰宅後、トイレの後、食事の前は必ず洗う。
- 教室への出入りの時にはアルコール消毒液で手指を消毒する。
- 咳エチケットを徹底する

## 6 多くの人が触れるものの消毒

- 1日1回、教室のドアの取っ手、スイッチ、トイレ内の手洗い場の蛇口、ドアを消毒する。

## 7 活動時における生徒の身体的距離の確保

- 授業においては、特別教室や空き教室を利用し、可能な限り人の分散を図る。
- 集会等の整列時など、可能な限り間隔を空ける。
- 昼食時には空き教室を開放し、教室内の密集を避ける。

## 8 生徒が対面とならないような形での活動

- 授業では生徒が対面となるようなペア・グループでの話し合い等はしない。
- 昼食時には対面とならないように横並びに座る。

## 9 放課後・部活動等の対策

- 部活動中は、部顧問が生徒の健康観察を行う。
- 放課後、特に用事の無い生徒は速やかに下校する。